

特集

看護を変革する看護実践研究の可能性

WBL(Work Based Learning)・WBR(Work Based Research)をヒントに

看護実践研究の意義 黒江ゆり子

看護実践研究をどう教えるか 北山三津子ほか

看護実践の改革を可能にする WBL / WBR とは

1) WBL / WBR 概説 黒江ゆり子

2) WBL / WBR の考え方とプロセス Sheila Cunningham

3) 英国の取り組み—修士・博士課程等の研究より Tina Moore

看護実践研究の具体的取り組み

藤澤まこと / 高橋智子 / 石原弥栄美, 梅津美香, 奥村美奈子 / 武田順子 / 馬場枝里香, 服部律子

連載●

専門看護師 CNS とは何か・2 梅田恵 / 井部俊子 / 大生定義 / 村上靖彦

理論看護学を学ぶ—看護現象から知を生むために・5 中野宏恵, 池原弘展 / 坂下玲子

創造 360°・5

編集協力者

阿曾洋子 / 井上智子 / 井部俊子 / 太田喜久子 / 岡谷恵子 / 片田範子 / 金井 Pak 雅子 / 上泉和子 / 萱間真美 / 川口孝泰 / 河口てる子 / グレグ美鈴 / 黒田裕子 / 小松浩子 / 坂下玲子 / 真田弘美 / 筒井真優美 / 水流聡子 / 西村ユミ / 野嶋佐由美 / 早川和生 / 舟島なをみ / 正木治恵 / 村嶋幸代 / 森 恵美 / 安酸史子 / 山田雅子 / 山本則子

(五十音順)

編集後記

●看護研究の発展に向けた重要なテーマとして、前号では看護学の知をどう構築するかについて探求しました。その1つの解になりうるものが、事例研究かと思います。2013年(46巻2号)の小誌特集から4年、その位置づけや方法論に関する議論が一層成熟してきていることを本特集から感じます。同時に、看護学の知をどう実践に活かし社会に還元していくのか。これもまた、これからの看護研究の大きなテーマです。

本号から、CNSについて考える連載が始まりました。さまざまな場で活躍するCNSの思考と実践を、現象学的に分析すると何がみえてくるのかという意欲的な試みです。CNSの実践知を明らかにしその共有を図ることは、看護実践の社会への還元につながる貴重な礎になるはずです。…とここまで書いて、つくづく、看護学という学問の奥行きと裾野の広さを思わずにいられません。

(小長谷)

看護研究 第50巻 第5号(通巻275号) 2017年8月15日発行(増刊号を含め年7回発行)

発行:株式会社医学書院 代表者 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部(03)3817-5659 社内案内(03)3817-5600 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp> 『看護研究』編集室:(03)3817-5775 電子メールアドレス kanken@igaku-shoin.co.jp 担当/小長谷・早田

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2017, Printed in Japan

1部定価1,900円+税 2017年年間購読料(いずれも+税,送料弊社負担,増刊号を含む年7冊):冊子版12,060円 冊子+電子版/個人15,060円 電子版/個人12,060円 <学割年間購読料>冊子版9,720円 冊子+電子版/個人12,720円 電子版/個人9,720円

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写,スキャン,デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学,病院,診療所,企業などにおいて,業務上使用する目的(診療,研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは,その使用範囲が内部的であっても,私的使用には該当せず,違法です。また私的使用に該当する場合であっても,代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

JCOPY(出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。

複製される場合は,そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。